

国語科学習指導案

日時 平成21年11月17日(火)5校時
学級 紫波町立紫波第一中学校
1年1組 34名
場所 1年1組 教室
授業者 乳井明子

1 教材 五 真実を語る 「未来をひらく微生物」(光村図書 1年)

2 教材について

(1) 教材について

本単元「5 真実を語る」は、1学年にとって「2 視野を広げる」に続く二度目の説明的文章の学習となる。前単元では、説明的文章の「文章のまとまりに着目し、構成をとらえる」学習と、説明文の基本事項を学習した。それら既習事項を確認しながら、読む力をつけ、本単元にある、書くことに結び付けていきたい。

本教材「未来をひらく微生物」は普段の生活で存在を気にすることのない「微生物」について、その働きとそれがもたらす環境改善への可能性を述べ、生命への新しい視点をひらかせる内容になっている。また内容面でも表現面でも2,3年の説明文の学習につながっており、新しい生命感と論理的な文章表現のあり方を学ぶ系列の入り口となっている。

また、この教材では、「微生物」「発酵」「生分解性プラスチック」「活性」「共生」などの用語が多く、具体的な生活との関連において用いられていて、文脈に沿った理解が大切である。漢語が多いので訓読みにさせるなどして、語の意味を想像させ、理解させたい。

さらに、本教材の後に続くレポート学習のためにも、段落の役割を知り、文章構成を理解する必要がある。したがって、段落にはどんな役割があるのか、段落関係はどうなっているのか、それらが文章全体をどう構成しているのか、そして、その効果などについて考えさせたい。

(2) 生徒について

生徒たちに実施した教科の学習アンケート結果をみると、国語の学習をおおむね楽しいと感じており、まじめに取り組んでいる。しかし、国語を好きだと感じている生徒が70%を超しているのに、発言や、作文など、自分の考えを表現することが好きだと答えた生徒は40%に落ち込んでいる。さらに好きな学習内容に、文学的文章をあげた生徒は多いが、説明文をあげた生徒は10%であった。また、一人で考えることを苦手とするためか、みんなで答えを考えながら学習を進めるのが楽しいと考える生徒が何人かみられる。挙手発言を求めると一部の生徒に偏りがちであり、男子が女子より活発である。

説明文の学習では、1学期に「ちょっと立ち止まって」と「クジラたちの声」で、段落の役割、問題提起とその答えに着目し、段落構成の基礎を学んだ。このときの学習後の感想に、とても楽しいと書いている生徒が多かった。目に見える資料や、初めて知ったことに対する興味関心が高かったことが理由と考えられる。これからの学習では、論理構成や内容を理解するために、既習事項を用いるとともに、説明文の読みに必要な、知識と技能の習得を図りたい。また、それらを用いて、他の人にわかりやすい文章を書く取り組みにつなげたいと考えている。

(3) 研究に関わって

国語科として、生徒一人ひとりの「表現力」を高めるにあたって、最も基本となる、授業五訓を生徒に意識させて授業を進めたい。次に教科として、「表現力」を「伝え合う力」ととらえ、話す、

聞く、読む、書く活動を複合的に単位時間の中に位置づけたい。具体的には以下のようなになる。

- ① 「聴き取る力」を高めるために・・・話している人を見る。発言したことに対する自分の考えを発表させ、相互交流を図る。
- ② 自分の考え（意図）を明確にするために・・・自分の考えを書かせる。表現力を支えるための言語事項や、語彙の指導。
- ③ 「確かに伝達する力」を高めるために・・・書いたものを発表する。書いたものを読み合う。相互評価による意欲付の場の設定。

3 教材の目標

- (1) 微生物と環境に対する筆者の見方や考え方を理解させる。【関心・意欲・態度】
- (2) 段落の役割に着目し、導入・本文・まとめや、問題提起・例示・詳細な説明などの働きについて読み分け、文章構成や展開を正確にとらえさせる。【読む】
- (3) 今後のレポート作成につなげることを視野にいれ、接続語や指示語の効果的な使い方やたとえの表現など、叙述の特色に着目させる。【読む】
- (4) 科学用語や漢語など、多様な語句について理解を深めさせる【言語】

4 指導計画と評価計画（5時間扱い）

時間	学習内容	関心・意欲・態度	読む	言語事項
1	微生物について。 通読と初発の感想	微生物について、初めて知ったことや不思議に思ったこと、調べてみたいことをまとめている。(シートに書き込んでいる)		新出漢字・重要な語句の意味を調べている。 (ノート)
2	全体の構成をとらえる 「導入」内容理解	説明文の既習事項を用いて、段落の構成をとらえようとしている。 (観察・シートの書き込み)	段落を導入・本文・まとめに分け、導入から微生物の働きを読み取っている。(観察、ノートの書き込み)	接続語・指示語を指摘し、役割を理解している。(発言・メモ)
3	「本文」1内容理解 筆者の表現の工夫	進んで本文1の内容を読みとろうとしている。 (観察)	本文1の内容を読み取り要点をとらえている。 筆者の表現の工夫を考える。(観察・ノート)	科学用語・漢語の文章中の意味をとらえる。(発言・メモ)
4	「本文」2内容理解 筆者の表現の工夫	進んで本文2の内容を読み取ろうとしている。 (観察)	本文2の内容を読み取り要点をとらえている。 筆者の表現の工夫を考える。(観察・ノート)	科学用語・漢語の文章中の意味をとらえる。 (発言・メモ)
5	「まとめ」の内容理解 筆者の主張について、自分の考えをもつ。	進んで文章を読み、筆者の意見を理解し、自分の考えを書こうとしている。 (観察)	筆者の主張をとらえている(観察・ノート)	

5 本時について

(1) 目標 「本文」 2 を読み、内容を理解し、筆者の表現の工夫を考える。

(2) 本時の構想

「本文」は、形式段落の 5 段落から 16 段落までで、さらに 5 段落を前置きとし、本文 1 は 6 段落から 12 段落まで、本文 2 は、13 段落から 16 段落までに分けられる。この段落構成は、段落の初めの言葉やキーワードを手がかりとして、とらえやすいと考える。

本文 1 の扱いで、本文全体の構成をとらえておく。本文 2 の読み取りでは、「次に」「第一の方法は」「もう一つの方法は」「これらの方法は」という言葉と、中心文を確認し、内容をとらえさせたい。

内容理解では、文頭に着目したり、キーワードをとらえたりしながら各段落の要点をとらえさせる。各段落には、わかりやすい説明のために、具体例と身近なたとえが盛り込まれているので、この筆者の工夫のおもしろさも、感じさせたい。

最後に今までの導入、本文の読み取りで触れてきた、筆者の表現の工夫についてまとめさせたい。そのとき、「伝え合う」取り組みのために、座席を簡単に移動させ対話による交流を行いたい。対話により、自分の考えを確認したり、相手の考えから学んだりすることを期待している。

そして、この説明文で学習したことを参考にして、この後の教材の「書くこと」に生かそうとする意識づけにしたい。

(3) 本時の展開

段階	学習項目	学習活動	時間	指導上の留意点
導入	0 授業前課題	授業準備をして漢字ノートに取り組む。	5 分	★授業の準備 ■評価 I 【言語】漢字ノートの取り組みをし、授業の準備をして席に着いているか。 ★学習シートで確認 <input type="checkbox"/> 「聴き取る力」を高める手立て ☆課題をしっかりと把握する。
	1 前時学習内容の想起	前時にとらえた本文 1 の内容を確認する。		
	2 学習課題	学習課題をとらえる。		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">微生物を使って環境問題を解決する試みを読みとろう。</div>				
展開	3 本文 2 の小見出しを確認し、通読する。	・ 13 段落の第 1 文を確認する。 ・ 各段落に書かれていることを考えながら聞く。	5 分	☆指名読みをさせる ■評価場面 II 【関心・意欲・態度】進んで筆者の考えを読み取ろうとしているか。 (観察)
	4 環境問題の解決策として、微生物を使った試みを読みとる。	(1) 「二つの方法で、その時間を縮める試み」の「その」の指し示す内容をわかり、14・15 段落とのつながりをとらえる。	5 分	<input type="checkbox"/> 自分の考えを明確にする 手立て(1)～(4) ☆手掛かりとなる言葉や、キーワードを全体で確認し、自分の考えを持たせる。

	<p>5 今までの学習から、筆者の工夫をまとめる。</p>	<p>(2) 14 段落、15 段落から「二つの方法」を読みとる。</p> <p>(3) 14 段落、15 段落に書かれている、「たとえ」「具体例」の役割と内容を読みとる。</p> <p>(4) 16 段落の、「配慮」、「たとえ」を読みとる。</p> <p>○筆者が読み手にわかってもらうために、どんな工夫をしているか、考える。</p> <p>(1) 自分の考えを持つ。</p> <p>(2) 自分の考えを隣接するものと交流する。</p> <p>(3) 対話で確認した意見を発表する。</p> <p>(4) まとめる</p>	<p>7 分</p> <p>7 分</p> <p>6 分</p> <p>14 分</p>	<p><input type="checkbox"/> 確かに伝達する力を高める手立て (1)～(4)</p> <p>☆自分の考えをシートに書き込ませ、全体に発表させる。</p> <p><input type="checkbox"/> 聴き取る力を高める手立て (1)～(4)</p> <p>☆発言をよく聴き、参考にできることをメモさせる。</p> <p>■評価場面Ⅲ【読む】本文 2 の内容を読み取り、要点をとらえることができたか。(観察・学習シート)</p> <p><input type="checkbox"/> 自分の考えを明確にする手立て</p> <p>☆今までの学習を振り返らせる</p> <p>☆学習シートに記入</p> <p><input type="checkbox"/> 確かに伝える力を高める手立て</p> <p>☆机を動かして対話しやすい席にする。</p> <p>☆机間巡視しながら支援する。</p> <p>TT</p> <p>☆進んで自分の意見を発表させる。</p> <p><input type="checkbox"/> 聴き取る力を高める手立て</p> <p>☆姿勢を直し話す人に注目する。</p> <p><input type="checkbox"/> 自分の考えを明確にする手立て</p> <p>☆交流、クラスの発表から学んだことをシートに整理させる。</p>
<p>終結</p>	<p>6 次時の予告</p> <p>7 授業五訓チェック</p>	<p>次時の学習内容を知り、意欲を持つ。</p> <p>授業五訓の自己チェックをする。</p>	<p>1 分</p>	<p>☆それぞれ達成したものに挙手で確認する。</p>